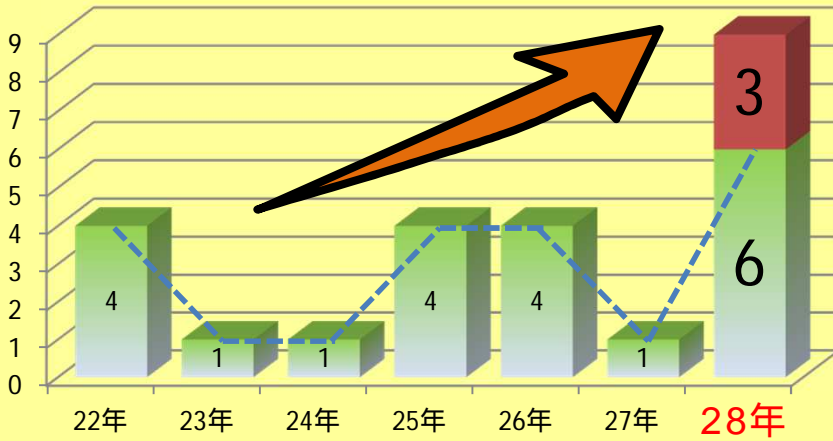


STOP!

死亡災害

東京労働局管内において平成28年に入ってから、
死亡災害が急増しています！



東京局管内各監督署から1月末までに労働局に報告された死亡者数

2月4日時点では
9名の報告
となっています。

今一度、安全管理を見直してください！

平成28年に発生した死亡災害事例(2月4日現在)

業種	職種、年齢、経験	発生状況の概要
建設業	作業員、30歳代、1年以上5年未満	建築物の雨水排水管のヘドロ等の詰まりを除去するため、マンホールに入っていたところ、突然、水が流入し溺死した。
	土工、60歳代、30年以上	同僚とともに公園内樹木伐木作業を高所作業車に乗って行っていたところ、高所作業車が横転し、搬器に搭乗していた被災者を含む2名が搬器外に投げ出された。(1名死亡、1名軽傷)
	土工、20歳代、1年以上5年未満	急傾斜地の崩壊防止工事現場で、ケーブルクレーンを用いて解体した単管足場の部材をつり上げたところ、部材が崩れ足場上にいた被災者に激突し、法面から転落した。
運輸業	バス運転者、50歳代、60歳代、10年以上20年未満	国道を走行していた大型バスが道路右脇の崖下に転落し、車体が横倒しになった。当該バスに乗務していた被災者2名が死亡したほか、乗客らが死傷した。
林業	作業員、60歳代、10年以上20年未満	伐採作業現場で、機械集材装置を使用して伐採した原木の運材作業を行っていたところ、斜面の上方で原木の玉掛け作業を行っていた被災者が倒れているところを発見された。ただちに救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡した。
商業	運転者、60歳代、30年以上	構内運搬車であるターレーを運転中にエレベーターの扉に衝突し、破損した扉に生じた開口部から転落した。
清掃業	清掃員、60歳代、1年未満	施設のゴミ収集庫内の生ゴミ用コンテナと生ゴミ搬出設備の柵の間に挟まっていたところを警備員に発見された。
その他の事業	作業員、40歳代、1年以上5年未満	出張先で顧客の荷物搬送用エレベーターの点検作業を行っていたところ、搬器の上端の梁と2階エレベーター出入口部の上部の間に上半身と右足を挟まれた。